



大阪経済法科大学

校友会報

Vol. 22

2017年8月5日発行
www.keiho-u.ac.jp/kouyukai/

第18回 大阪経済法科大学校友会



大阪経済法科大学 校友会は、2019年に 設立20周年を迎えます。

今後も会員の ネットワークを広げ、 母校の発展に貢献します。



CONTENTS

- 校友会会長挨拶
- 学長挨拶
- OB・OGインタビュー
- 支部日より
- 母校の近況
- 2017年度校友会事業計画

大阪経済法科大学 学長挨拶

大阪経済法科大学は、今年で創立46周年を迎えます。1971年の大学創立以来、本学が社会に送り出した卒業生は、4万3千人を超え、既に多くの卒業生が社会の重要な役割を担う人材として活躍され、さらに創立初期の卒業生の方々は、社会の指導層の一員として国内、あるいは海外で大いに活躍しておられます。

これら卒業生の組織として大阪経済法科大学校友会があります。この校友会には教職員が特別会員、在学生が準会員として加わっています。校友会は、毎年開催する総会・懇親会や支部活動に加えて、卒業生のホームカミングデーとしての経法祭への参画など、卒業生と在学生・教職員を結び付ける交流の場となっています。

本学は、経済学部と法学部の2学部をもつ大学として、設立されて以降、「経法相互乗り入れ」によって、経済学と法学の両方の知識を身につけた、法律に強い経済学部生、経済に強い法学部生を育ててきました。また、2016年度には、新たに国際学部を設置し、グローバル化する社会において、豊かな国際感覚と優れたコミュニケーション力を身につけ、国際的なビジネス・市民社会で活躍できる人材を育てています。

私たち教職員一同は、大阪経済法科大学の教育研究を一層活性化し、在学生の皆さんが誇りに思える大学を創ってまいります。そのため、皆さんが、オール経法大の組織としての大阪経済法科大学校友会の活動に加わり、後輩に対する支援をはじめ、さまざまな活動を続けていただけることを期待しています。



学長 田畑 理一

国際学部開設から2年、現在本学には10カ国・地域の525名の留学生（学部生のみ）が在籍し、それぞれの将来の目標に向かって、日々勉学に励んでいます。

また、海外留学プログラムや海外インターンシップにも積極的に取り組んでおり、「週刊東洋経済 臨時増刊 本場に強い大学2017」（2017年05月15日発売）の「本場に強い大学」ランキングで、総合ランキング86位（関西私立大学10位）、国際力ランキング23位（関西私立大学3位）となり、この間、積み重ねられてきた教育成果が社会的評価になって現れてきたといえます。

会合では、本学を卒業し、現在中国・上海で活躍する李雅光さんにお話しをお伺いしました。

◆学生時代は、どのような大学生活を過ごされたか教えてください。

大学生活の4年間は、他の留学生と同じように、毎日勉強とアルバイト中心の生活でした。学業面では、アルバイトでいくら稼いでいても授業にはできない限り出席し、3年間で卒業に必要な単位を取得しました。そのおかげで、4年生の時は就職活動に専念することができました。

学業以外には、地元の市民を対象にした中国語教室を開催したり、某有名衣料店や駅前の居酒屋などでアルバイトを行い、たくさんのお金を稼ぐことができました。

大阪経済法科大学での4年間は、大学内でも、外でも、本当に楽しい思い出ばかりです。

◆大学生活で一番印象に残っていることを教えてください。

大学生活の中で一番印象に残っているのは、国際部の先生方によくしてもらったことです。その当時の国際部には、ロシア、韓国、ベトナム、モンゴル、中国など、世界各地から来た留学生や交換留学生、日本人学生が沢山集まってきました。毎日授業が終わった後、国際部にみんなで集まり勉強をしたり、たわいもない会話をしたりして、たくさんの学生とコ



OB・OG インタビュー

活躍する卒業生紹介

大連頭貿易発展有限公司 取締役

李 雅光さん

2007年3月卒業（法学部33期生）

ミュニケーションを取りながら、異国の学生たちの人生観や価値観を知り、人としての幅を広げることができたと感じています。

また、毎年開催される異文化交流行事にも積極的に参加し、日本文化を肌で感じ、多くのことを学ぶことができ、忙しい毎日の生活の中でリラックスする大変貴重な機会となりました。

卒業して今年で10年が経ちますが、国際部の先生方が大学生活で私たち留学生

に与えてくれた安心感や環境には、いまでも心の底から感謝しています。本当に、ありがとうございました。

◆本学卒業後の経歴について教えてください。

2007年に大阪経済法科大学を卒業後、株式会社美徳屋（本社：東大阪市）に入社し、主に宝石用パッケージ、ディスプレイの企画、製造、販売等の営業を行っていました。

また、会社が将来の中国市場への進出を計画していたこともあり、5年という歳月をかけて私にたくさんのことを教えてくれました。私を育ててくれました。

その後、2012年に中国上海事務所へ派遣され、同事務所での責任者を任せられ、中国企業との取引や商談など、会社の発展につながる重要な仕事、経験をさせていただきました。

2013年には、協力・連携関係にある会社と一緒に大連頭貿易発展有限公司に出資し、今は同社の取締役（株主）として、上海に居住しながら経営に携わっています。

◆今後の自身目標についてお聞かせください。

もちろん仕事でもっと成功したいという気持ちはありますが、いまは校友会の海外支部を立ち上げ、中国にいる卒業生同士の交流を深め、母校の国際交流のために貢献したいと思っています。

中国（上海）支部を設立することにより、中国にいる卒業生同士のコミュニケーションや、卒業生と母校の連携、卒業生と現地にある日本人組織（企業や学校等）との連携を促進し、中国にいる卒業生たちと共に、多様な活動を行い、母校の国際交流の発展に少しでも貢献できればと思っています。

◆最後に、校友（卒業生）の皆さんにメッセージをお願いします。

国際学部も開設され、これからは日本国内をはじめ、海外で活躍する校友がたくさん出てくると思います。

これから社会に出て活躍する後輩たちを少しでも応援することができるよう、自分自身もいまの仕事をもっと頑張り、後輩たちの手本になれるような先輩になりたいと思います。

また、中国（上海）に校友会支部を設立し、これまで自分自身が培った経験やコミュニティを少しでも後輩たちに還元し、母校である大阪経済法科大学の発展に、校友の皆さんと一緒に貢献できればと思っています。

大阪経済法科大学 校友会会長挨拶

大阪経済法科大学校友会は、1999年6月に設立され、2019年には20周年の節目を迎えることになりました。

設立以来、年1回の校友会総会の開催、校友会報の発行、各支部の活動支援をはじめ、種々の学生支援等の事業活動に努めてまいりました。この間、多くの校友会会員（卒業生）のご協力ご支援により、校友会の基盤が整備され、少しずつではありますが、多様な校友会活動ができるようになってきたと自負しております。

現在、石川県、東京都、愛知県、三重県、岡山県、広島県、香川県、高知県、福岡県、沖縄県の10地域に校友会支部を設け、地域支部会員の親睦・交流を図ってまいりました。

また、この間、教育後援会との交流会をはじめ、在学生のご父母との連携や卒業生同士の交流の場を広げる取組として経法祭にも積極的に参加し、現役学生との交流を深めています。

私も設立以来、長きにわたって会長を務めさせて頂いておりますが、「出会いは人を養え、時は人を育てる」をモットーに、今後ますます卒業生の輪が広がるよう、また校友会が現役の学生の力づけとなり、母校の発展に寄与できるような組織であるように願っております。

今後とも、校友会へのさらなるご支援ご協力を賜りますよう、校友会役員共々よろしくお願ひ申し上げます。



校友会会長
伴井 敬司
(法学部1期生)

第10期 大阪経済法科大学校友会役員

顧問	田畑 理一	学長
会長	伴井 敬司	1期生

正会員

副会長	八瀬林 肇	6期生
	北垣 義弘	7期生
	三戸 泰樹	20期生
常任幹事	中須 秀治 (三重支部長)	1期生
	安田 公治	2期生
	阪本 誠	4期生
	樋上 有司 (岡山支部長)	4期生
	前吉 克明	8期生
	中村 和義	9期生
	姜 公晴	12期生
	中津 広志	13期生
	出口 寛	22期生
	小林 保重	22期生
	石山 陽浩	25期生
	山内 綾	29期生
	富山源太郎	32期生
幹事	栢田 博昭 (広島支部長)	3期生
	勝部 恒夫	5期生
	石塚 央 (香川支部長)	6期生
	濱口 元洋 (三重支部長)	7期生
	政宗 正章	8期生
	宮松 久浩 (東京支部長)	9期生
	山下 浩希 (石川支部長)	10期生
	岩井 司 (高知支部長)	10期生
	岸 泰至 (愛知支部長)	12期生
	新里 靖 (沖縄支部長)	14期生
	柴田 剛	14期生
	宮本 英浩	17期生
	江川 充彦	17期生
	入嶋 修一	20期生
	濱田 亜紀	27期生
	安田 貴則	30期生
	李 雅光	33期生
	藤井 勇也	36期生
	花田 徹	37期生
	徳留 優希	39期生
	池間はるか	42期生

特別会員

副会長	能塚 正義	国際キャリアセンター副
常任幹事	山中 雅登	事務局長
	春山 勝哉	庶務課長
	羽牟 勝規	学生課長代理
	西澤十三夫	OB職員
	丸井 龍夫	OB職員
幹事	高砂 謙二	国際学部教授
	山路 崇正	経済学部准教授
	矢野 哲也	法学部教授
	呉 紅敬	教養部教授
	安東 浩俊	財務部長代理兼会計課長
	橋本 久	OB教員
	山本 和磨	キャリア支援課

4万3千人を超す校友(卒業生)が社会で活躍!



広島支部
支部長 栢田 博昭 (3期生)

特産品・見どころなど
熊野筆
広島の名産と言えば、カキやお好み焼き等が代表されるが、広島市郊外の熊野町で約200年前から始まった筆づくりがある。日本有数の伝統工芸で、特に近年は繊細な筆先の化粧筆が有名になっており、書画、画筆と共に需要が伸びている。

支部のモットー
広島支部は「和と協調」をモットーとして、経法大の温かさを明るく楽しく語り合える場所づくり、公私でも付き合いができる支部づくりを目指しています。

福岡支部
支部長 入嶋 修一 (20期生)

特産品・見どころなど
千仏鐘乳洞
①昭和10年に国の天然記念物に指定
②約1200mまで歩いて進む事が出来る洞窟
③約480m進んだ地点からは小川の中を進む
④洞窟内夏は涼しく、冬は暖かい
⑤あなたの好奇心にジャストフィット!!!

支部のモットー
①「アットホーム」老若男女、来るもの拒まず楽しい集まり
②「インベション」一人ひとりの経験に基づく新しい情報の共有
③「メモリー」福岡のこと、大学のこと、これまでもと沢山はなましよう。

沖縄支部
支部長 新里 靖 (14期生)

特産品・見どころなど
シークワサーボン酢
特産本醸造醤油に「シークワサー」を加えたさっぱりタイプのぼん酢。その名称は、沖縄方言で「シー」は「酸(酢)」、「クワサー」は「食わせるもの(加える)」を表し、これより「酸を食わせるもの(酢を加える)」を表します。また、ビタミンC・ビタミンB・クエン酸などが多く含まれており、沖縄では昔からよく使われる果実で、酸味があり爽やかな風味が特徴の柑橘類です。

支部のモットー
在学生にやさしい沖縄支部でありたいです。

岡山支部
支部長 樋上 有司 (4期生)

特産品・見どころなど
井山宝福寺
聖観音菩薩が幼いころ修業し、涙でネズミの絵を描いたという伝説で有名な寺。禅寺、秋の紅葉と苔が美しい。おすすめミニ観光ルート、宝福寺・国分寺・倉敷美観地帯。時間があれば、天空の城備中松山城の観光もあります。

支部のモットー
人間愛、山田方方に学ぶ
方方は、幕末の陽明学者、教育者、政治家で、備中松山藩の財政を立て直した改革者です。岡山支部の会員が、社会人としてどう生きていくか迷ったとき、お互いの支えとなれるような交流を目指して活動します

石川支部
支部長 山下 浩希 (10期生)

特産品・見どころなど
牛首鮎
釘に引っかけると反対に釘が抜けるほど丈夫なため、別名「釘抜鮎」と呼ばれた。普通、鮎は真綿を手で紡いだ糸糸を織るが、牛首鮎は、2匹の蚕がくっついて作られた玉繭から直接糸を引き出して製糸(座繰製糸)した。太く節のある絹糸で織るため、野趣に富んだ素朴な美しさを持ち、独特の味わいがある。機織は長機(パツタン)の改良型で、すべて手織りである。(石川県商工会議所連合会HPより)

支部のモットー
校友相互の親睦を深めると同時に母校の発展・学生の成長に寄与することです。

高知支部
支部長 岩井 司 (10期生)

特産品・見どころなど
高知城歴史博物館
2017年3月4日より、高知城山内家伝来の資料を展示する博物館が開館致しました。特に外国人の観光客が増え、今、高知で一番の観光地となっています。すぐ近くには「ひろめ市場」があり、酒好きにはたまらない場所です。

支部のモットー
親睦性よろしく「今が楽しければ!」で楽しんでいます。教しやすく学ばせたい所がありますが、高知の経法大 OR、OG が集う場所となればと思っています。

香川支部
支部長 石塚 央 (6期生)

特産品・見どころなど
香川県では、多くの見どころや、味どころがあります。
大阪から新幹線で2時間、自家用車で3時間、ぜひ来てあなたの目で見て味わって下さい。新たな発見に出会えるかもしれません。

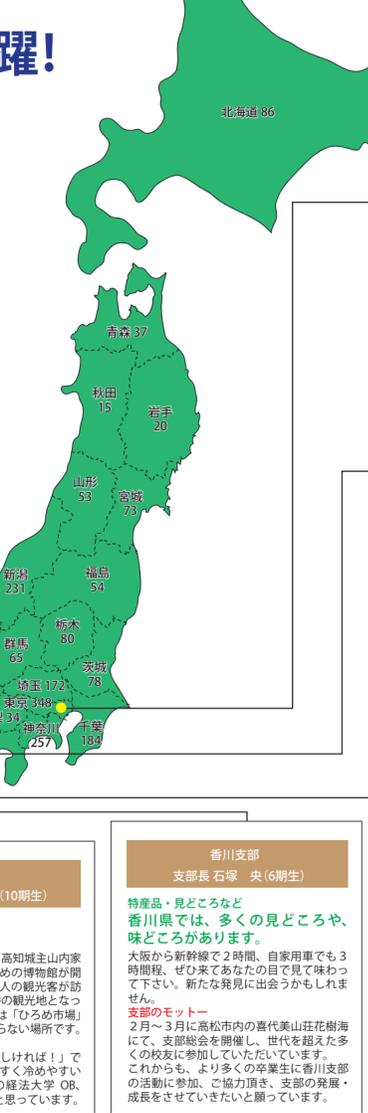
支部のモットー
現在、三重支部の役員は60歳から20歳代の男性8名、女性2名の計10名で各年代バランス良く構成されており、各役員が役割を分担して支部活動に取り組んでおります。活動内容は、支部総会の開催など行事②本部の総会や学園祭への積極参加及び協力③愛知支部との連携により岐阜支部設立に向けての活動を積極的に進め、東海3県の校友交流の充実を図って行く。

三重支部
支部長 中須 秀治 (1期生)

特産品・見どころなど
伊勢茶(生産量全国3位)
三重県内、特に伊勢の国で古くから産出していた日本茶のこと。新茶の収穫は、早い所では4月下旬から始まる。収穫した地域をより細分化し水沢茶(すいざわちや)、鈴鹿茶、龜山茶、大台茶、わたらい(度会)茶、飯南茶、越前茶とも呼ばれる。全般的に煎茶を生産しているが、北勢地域はかき茶、南勢地域には深蒸煎茶に特徴がある。

支部のモットー
現在、三重支部の役員は60歳から20歳代の男性8名、女性2名の計10名で各年代バランス良く構成されており、各役員が役割を分担して支部活動に取り組んでおります。活動内容は、支部総会の開催など行事②本部の総会や学園祭への積極参加及び協力③愛知支部との連携により岐阜支部設立に向けての活動を積極的に進め、東海3県の校友交流の充実を図って行く。

※都道府県の数字は、出身の卒業生数を示す。



東京支部
支部長 宮松 久浩 (9期生)

特産品・見どころなど
上野の「西洋美術館」
東京の上野にユネスコ世界文化遺産に登録された美術館があります。日本で唯一の「コンクリート設計の建築物」です。常設展示は充実しており、ピカソやゴッホをはじめ、世界の巨匠の作品を日本に届けるに当たって活躍しています。

支部のモットー
大学時代の思い出をシェアしよう。

愛知支部
支部長 岸 泰至 (12期生)

特産品・見どころなど
名古屋の喫茶店です！
名古屋の喫茶店でのモーニングサービス(11時まで)はコーヒーを注文すれば、トースト・ゆで玉子が当たり前についてくる。お店によっては更にサラダ・茶碗蒸し・デザート等がついて、350円~400円程度で食べられるお店も珍しくない。最近ではコメダ珈琲の温かいデニッシュパン(シフォン・クリーム)・さくらんぼを敷せ修繕シロップを掛けて食べるスイーツ「シロノワール」も人気である。また、名古屋駅前には身長6m10cmの「ナナちゃん人形」がおり季節ごとに様々なファッションで楽しませてくれる。待ち合わせ場所としても利用されている。

支部のモットー
愛知支部では「君に会えてよかった」を合言葉に校友が集い、毎回新しいメンバーも入り支部総会・懇親会・忘年会 or 新年会を開催しております。

香川支部
支部長 石塚 央 (6期生)

特産品・見どころなど
香川県では、多くの見どころや、味どころがあります。
大阪から新幹線で2時間、自家用車で3時間、ぜひ来てあなたの目で見て味わって下さい。新たな発見に出会えるかもしれません。

支部のモットー
現在、三重支部の役員は60歳から20歳代の男性8名、女性2名の計10名で各年代バランス良く構成されており、各役員が役割を分担して支部活動に取り組んでおります。活動内容は、支部総会の開催など行事②本部の総会や学園祭への積極参加及び協力③愛知支部との連携により岐阜支部設立に向けての活動を積極的に進め、東海3県の校友交流の充実を図って行く。



母校の近況

八尾青年会議所主催「わんぱく相撲八尾場所」でイベント企画を実践

八尾市立総合体育館(ウイング)にて「わんぱく相撲八尾場所」が5月21日(日)に開催され、本学経済学部山路崇正ゼミの学生約20名が、小学生100名が参加したわんぱく相撲において、同時開催された「リアル紙相撲」の工作体験を実践しました。

本番を迎えるにあたり、今回参加した学生たちは、八尾青年会議所の担当者の方を事前に本学に招き、2年生、3年生、4年生の混成チームによる「わんぱく相撲八尾場所」解説会を実施しました。そこではわんぱく相撲八尾場所の趣旨目的や、実施にあつての注意事項などについて解説・指導をいただき、「リアル紙相撲」の工作体験を学生自身で実施することにより、実際に工作を体験する子どもたちの目線で作業工程を一つひとつ確認することができました。

今回、学年を超えたチームで企画を実践することで、メンバーの役割分担や人員配置、情報共有の仕組み構築など、労務管理論の概念や、リーダーシップ、コミュニケーションといった組織行動論の概念を実践的に学修することも貴重な機会となりました。



ナショナル大学から副学長が来学 両大学における友好関係とさらなる交流の深化を確認

米カリフォルニア州・サンディエゴ市のナショナル大学のBob Benson副学長が5月17日(金)本学を訪問し、本学教職員及び学生と交流を深めました。ナショナル大学と本学は、2015年度に正式に関係を結んで以来、相互に交流を深めてきました。相互訪問はもとより、2015年度には3名、2016年度には14名の学生がナショナル大学での留学・研修などに参加し、今年度も夏から13名の学生が同大学にて学ぶ予定です。

花岡キャンパスに到着したゲストを、本学の能塚副学長(経済学部経営学科教授)が温かく迎えました。表敬訪問では、過年度における両大学間の交流、サンディエゴと大阪の関係、また、今後の提携のあり方について、様々な意見交換がなされました。Bob Benson副学長が「経法大を訪問できて大変嬉しい。昨年には、貴学に国際学部が開設され、今後の益々の交流が期待される」と語りかけると、能塚副学長が「この間のご協力に感謝したい。今後も本学の学生たちのアメリカでの学修と生活が盛り多きものになることを願う」と答えるなど、終始友好的な雰囲気でした。



花岡キャンパスで恒例の「ホテル鑑賞会」を開催

毎年の恒例行事となった「ホテル鑑賞会」が、6月2日(金)・3日(土)の2日間、花岡キャンパスで開催されました。

この鑑賞会は、経法学会の主催のもと、本学を拠点に環境保全活動を行っている学生研究グループ「ECO〜∞KEIHO」が中心になって運営を行っている企画です。当日は、日が落ち、暗くなるまで(ホテルが飛ぶまで)の間、竹で作る「でんでん虫」と留学生によるマレーシアの踊り、本学研究所教員による三味線の演奏といったイベントが実施され、来場者の皆さんを楽しませていました。

各イベント終了後に行われたホテル鑑賞は、ここしばらくの寒さと当日の強風により、ホテルが飛ばないものではないかと心配しましたが、昨年より数こそ少なかったものの、観客の歓声があがる中、暖かく点滅するホテルの幻想的な姿に、来場者やスタッフは時間を忘れ、その光景に見入っていました。



2017年度校友会事業計画

1 第19回総会・懇親会の開催

校友会会則に基づき会員相互の親睦と連携をはかるとともに、校友会事業及び大学の教育研究事業への理解を深めていただく機会とする。そのために、全国から多くの校友に参加していただける企画・運営を行う。

①開催日 2017年10月21日(土)
②会場 スイスホテル南海大阪
③基本内容 総会、懇親会及び特別企画の3部構成とする。

2 幹事会・常任幹事会・広報部会の開催

①幹事会の定例開催
第1回幹事会 4月
2016年度事業報告、2017年度事業計画案審議、総会・懇親会基本計画審議、第10期役員改選
第2回幹事会 7月
2016年度収支決算書審議、校友会総会・懇親会詳細確認、経法祭企画案審議、2017年度事業の進捗状況確認、等
第3回幹事会 2月
2018年度事業計画・予算案審議、等

②常任幹事会の開催
校友会事業の円滑な運営のため常任幹事会を適宜開催する。(第1回:4月、第2回:6月、第3回9月、第4回:12月)

③広報部会の開催
校友会報22号の発行に向けて適宜広報部会を開催し、費用対効果を検討しながら誌面を充実させる。

3 支部活動支援

①支部総会の開催
各支部の活動状況に合わせて適宜支部総会を開催する。各支部総会には、必要に応じ本部役員及び大学教職員が参加し、地域支部との連携をはかるよう努める。

②支部活動助費の交付
各支部に年間4万円の活動助費を交付する。

③支部事業計画支援費
各支部の事業計画に対して、幹事会で承認を得た上で予算計上を行う。但し、支部から提出された「事業計画書」「予算見積書」(任意の形式)は事務局で査定し、直近の幹事会へ意見を付して提出することとする。

4 全国支部長会議の開催

2017年10月21日(土)の「第19回校友会総会」の日に合わせて開催する。

4 会報・広報の充実

①校友会報第22号の発行
②ホームページ、大学内の各種媒体(掲示板、デジタルサイネージ等)の活用・充実
③在学生向け校友会紹介リーフレットの作成
卒業式で配布するとともに、学生の学生サービス窓口に置き在学生へのPRをはかる。

5 在学生支援

①学生活動助成金の有効活用
準会員である在学生の主体的な学生活動に対し、援助金の趣旨・目的に則り、多くの学生に有効活用してもらえよう努める。

②経法祭参加企画
ホームページとして位置づけ、学生団体との調整をはかりながら、多くの校友が参加できる企画を実施する。
開催日時 2017年11月の第2週土曜/日曜(予定)
会場 花岡キャンパス
基本内容 模擬店(地域支部参加含む)/学生の実行委員会との共同企画を実施
実施体制 実行委員会を構成し、企画・準備・広報・当日運営等の全般業務を行う。

③卒業祝い企画への財政支援
卒業生への学位記カバーの贈呈、校友会紹介リーフレット配布のほか、在学生卒業祝い企画に対する財政援助を行う。

6 校友会設立20周年事業検討委員会の立ち上げ

校友会創立から17年が経過し、校友会を取り巻く状況は、正会員(卒業生)数の拡大、母校の発展(学部増設、定員増、大学院新設など)、校友会運営主体の変化など、様々な面において変化してきている。この17年間の校友会の歩みを振り返り、発展に向けて、組織・事業・財政・広報等の事項について検討するため、委員会を立ち上げ20周年記念事業(2019年度)に向けた準備を開始する。

2017年度校友会予算

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

収入の部	項目	2016年度予算	2017年度予算	差異
収入の部	1. 校友会費			
	正会員	13,000,000	13,795,000	795,000
	正会員	400,000	500,000	100,000
	特別会員	100,000	100,000	0
	2. 総会・懇親会参加費	500,000	500,000	0
	3. 受取利息	500	500	0
	4. その他収入	50,000	50,000	0
	小計	14,050,500	14,945,500	895,000
	前年度繰越金	14,887,606	17,878,689	0
	収入の部合計	28,938,106	32,824,189	895,000
収入の部	1. 総会			
	総会等運営費	2,100,000	2,500,000	400,000
	印刷製本費	0	0	0
	旅費交通費	900,000	0	-900,000
	通信費	0	0	0
	通話料	0	0	0
	小計	3,000,000	3,400,000	400,000
	2. 幹事会			
	会議費	300,000	300,000	0
	旅費交通費	800,000	800,000	0
印刷製本費	100,000	200,000	100,000	
印刷製本費	1,200,000	1,300,000	100,000	
3. 支部活動等支援				
会議費	600,000	600,000	0	
旅費交通費	1,300,000	1,000,000	-300,000	
活動助成費	600,000	1,400,000	800,000	
支部設立準備費	50,000	50,000	0	
支部設立準備費	2,550,000	3,050,000	500,000	
4. 会報・広報				
印刷製本費	960,000	1,100,000	140,000	
印刷製本費	1,600,000	1,700,000	100,000	
印刷製本費	300,000	300,000	0	
印刷製本費	2,860,000	3,100,000	240,000	
5. 学生支援				
卒業記念品費	500,000	650,000	150,000	
卒業祝い企画費	400,000	200,000	-200,000	
経法祭支援費	620,000	620,000	0	
学生活動助成費	500,000	500,000	0	
在学生交流企画費	200,000	100,000	-100,000	
在学生交流企画費	2,220,000	2,070,000	-150,000	
6. 共済・事務費				
印刷製本費	50,000	100,000	50,000	
印刷製本費	60,000	60,000	0	
印刷製本費	600,000	700,000	100,000	
印刷製本費	10,000	10,000	0	
印刷製本費	1,600,000	1,600,000	0	
印刷製本費	20,000	20,000	0	
印刷製本費	20,000	20,000	0	
印刷製本費	2,360,000	2,510,000	150,000	
7. 予備費				
印刷製本費	1,000,000	300,000	-700,000	
印刷製本費	1,000,000	300,000	-700,000	
小計	15,190,000	15,730,000	540,000	
次年度繰越金	13,748,106	17,094,189	355,000	
支出の部合計	28,938,106	32,824,189	895,000	

2016年度校友会収支決算

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

収入の部	項目	予算額	決算額	差異
収入の部	1. 校友会費			
	正会員	13,000,000	13,130,000	-130,000
	正会員	400,000	470,000	-70,000
	特別会員	100,000	20,000	80,000
	2. 総会・懇親会参加費	500,000	345,000	155,000
	3. 受取利息	500	154	346
	4. その他収入	50,000	63,410	-13,410
	小計	14,050,500	14,028,564	21,936
	前年度繰越金	14,887,606	16,995,899	0
	収入の部合計	28,938,106	31,024,463	21,936
収入の部	1. 総会			
	総会等運営費	2,100,000	2,053,039	46,961
	印刷製本費	0	0	0
	旅費交通費	900,000	757,120	142,880
	通信費	0	0	0
	通話料	0	0	0
	小計	3,000,000	2,810,159	189,841
	2. 幹事会			
	会議費	300,000	279,820	20,180
	旅費交通費	800,000	808,860	-8,860
印刷製本費	100,000	0	100,000	
印刷製本費	1,200,000	1,088,680	111,320	
3. 支部活動等支援				
会議費	600,000	615,088	-15,088	
旅費交通費	1,300,000	1,217,712	82,288	
活動助成費	600,000	462,592	137,408	
支部設立準備費	50,000	0	50,000	
支部設立準備費	2,550,000	2,295,392	254,608	
4. 会報・広報				
印刷製本費	960,000	956,300	3,700	
印刷製本費	1,600,000	1,480,680	119,320	
印刷製本費	300,000	317,520	-17,520	
印刷製本費	2,860,000	2,754,500	105,500	
5. 学生支援				
卒業記念品費	500,000	515,808	-15,808	
卒業祝い企画費	400,000	0	400,000	
経法祭支援費	620,000	655,173	-35,173	
学生活動助成費	500,000	300,000	200,000	
在学生交流企画費	200,000	0	200,000	
在学生交流企画費	2,220,000	1,470,981	749,019	
6. 共済・事務費				
印刷製本費	50,000	117,635	-67,635	
印刷製本費	60,000	254,065	-194,065	
印刷製本費	600,000	655,987	-55,987	
印刷製本費	10,000	0	10,000	
印刷製本費	1,600,000	1,514,608	85,392	
印刷製本費	20,000	0	20,000	
印刷製本費	20,000	43,076	-23,076	
印刷製本費	2,360,000	2,585,371	-225,371	
7. 予備費				
印刷製本費	1,000,000	140,691	859,309	
印刷製本費	1,000,000	140,691	859,309	
小計	15,190,000	13,145,774	2,044,226	
次年度繰越金	13,748,106	17,878,689	-2,022,290	
支出の部合計	28,938,106	31,024,463	21,936	